

みんなの声の広場

平成25年1月15日発行

homepage : <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/khotoku/>

email : khotoku@info.email.ne.jp

tel&fax : 045 - 532 - 9089

平成24年度第4回定例会 11月29日(木) - 12月25日(火)

市会ニュース

TOPIC 1 総事業費約1,400億円！新市庁舎建設計画をご存じですか!?

横浜市の中長期の財政見通しによれば、平成25年度から27年度までの3カ年の一般会計の財政収支赤字は、▲約1,230億円超となっており、とても厳しい見通しです。行財政改革は待ったなしですが、昨年の議会で指摘した通り、土地開発公社の損失補填(約1,300億円の第三セクター等改革推進債発行)や、特定の団体に対する不合理な市保有土地(駐車場用)の貸付け、外郭団体等への無利子貸付け約1,000億円、投資不適格の仕組債問題など財政上の問題が山積しています。

この状況の中、横浜市では31階建の新市庁舎(総事業費約1,400億円)の建設が計画されています。現市庁舎の老朽化と関内地区約5,900人の職員が20の周辺ビルに分散し、年間約20億円かかる賃借料の節約というのが議論の出発点ですが、市がいま進めようとしている北仲通南地区案はさまざまな問題を抱えています。望月そしてみんなの党市会議員団は、この問題点を広く市民に知って頂き、根本から見直す必要があると考えます。

新市庁舎の問題点まずは市の財政状況が大変厳しい中、多大な市費を投じる公共事業が実施されようとしている事実です。約1,400億円の総事業費が見込まれ、多額な市費を投じる事業でありながら、事業費圧縮の手法検討は充分なされていません。そして事業規模も含めた計画の中身の良し悪しを市民に問うべき、今実施されている市民への意見募集〔パブリックコメント〕などは形式的なものに留まっています。

更に問題なのは、北仲通南地区に特定事業者として高層ビルを建てる事が計画の大前提となっており、そのビル建設だけで膨大な事業費が見込まれていることです。我々の提案では、特定事業者としての地位を解消する事によって事業費を大幅に圧縮が可能ですが、その提案の検討は、絶対に受け付けないというのが市当局の姿勢です。これは、市財政の現況からも、将来の世代の手足を縛る負担を残す点からも、そして少子高齢化社会の中で新しい行政の在り方が必要とされる点からも誤った態度と考えます。

財政負担や事業手法の問題点は、市民に対して正しく広報されていません。これだけ巨額な財政負担を伴う公共工事でありながら、林市長は市庁舎建設を自分の選挙の際の公約に掲げておらず、この問題の是非について、市民の判断・審判が下されていません。

市庁舎の建て替えの話は、これまでも議会で出ておりました。それがいま具体案として市側から提案されているわけですが、その中身は、時代の要請、将来ニーズを充分考慮し、柔軟なものであるべきです。特に財源論は必須であり、将来に責任を持ったものであるべきです。「横浜の子どもに残されたのは、借金の山」とならぬよう我々は、提言していきます。

賛成の方も反対の方も

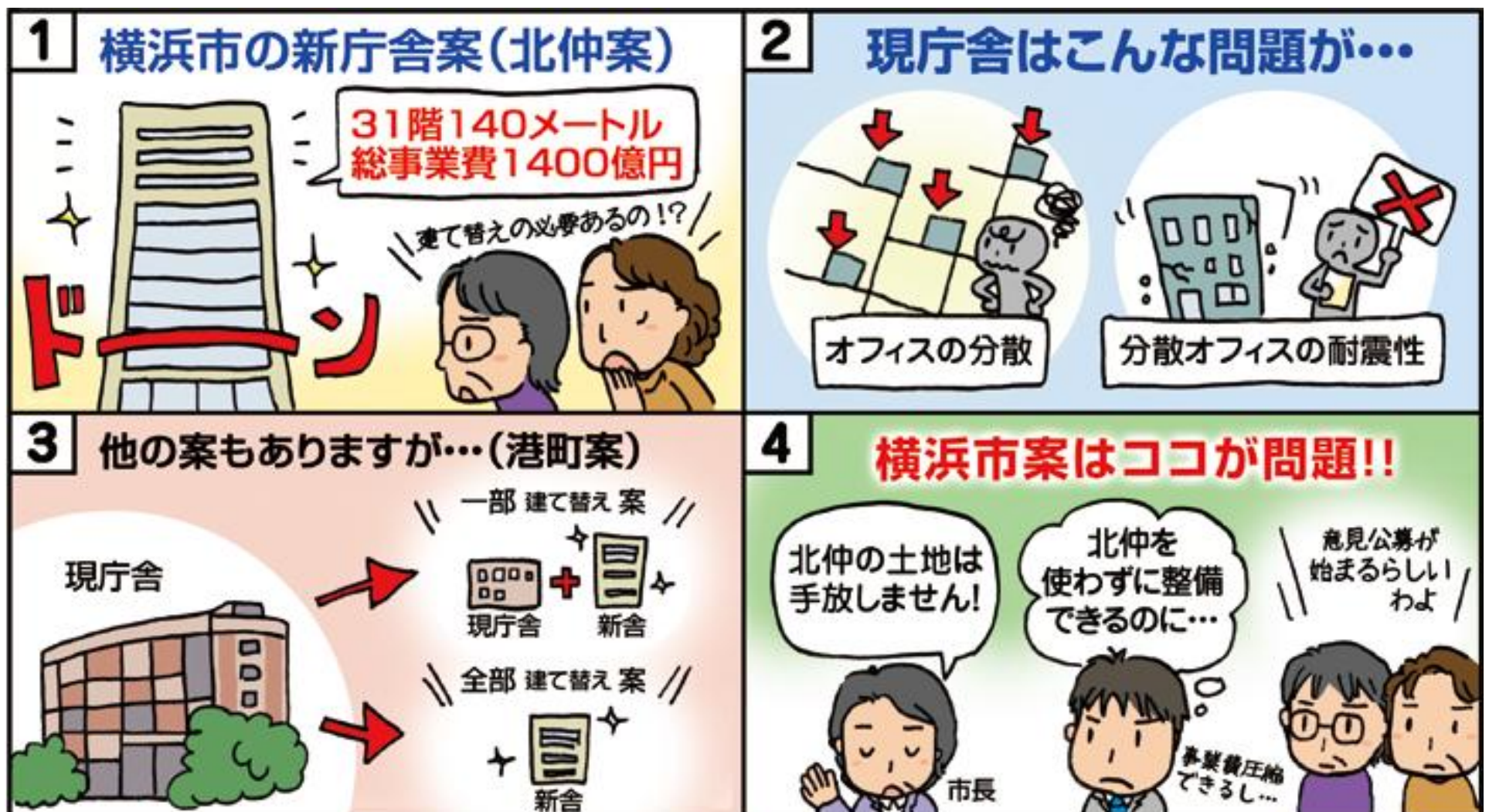
新市庁舎建設に関する市民意見募集〔パブリックコメント〕に皆様のご意見を！ 期日迫る 1月28日(月) 締切

市民意見募集ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/ikenbosyu/>

電子メール : so-chosyaplan@city.yokohama.jp

FAX: 045-663-4670

新市庁舎建設に関するパブリックコメント説明&記入用紙は、望月事務所や区役所まで



【当レポート発行者 について】

横浜市議員〔都筑区選出〕望月高德（もちづきこうとく）。 みんなの党横浜市議員団所属。平成23年4月より現職。平成24年度所属委員会は、健康福祉・病院経営常任委員会、大都市行財政制度特別委員会。平成24年度は、神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員も兼任。

TOPIC 2 福祉パスの有料化議案継続審査へ！

今回の議会で最も対象者・関係者そして市民の方からの反響があり、注目されていたのが、福祉特別乗車証いわゆる“福祉パス”の見直し条例案の当局側からの提出でした。福祉パスとは、一定条件の下、障害のある方々に交付されている乗車証で、市営交通や市内を運行する民営バス乗車時に使用できます。（福祉パスの詳細については、市健康福祉局のHPなどをご確認下さい。）その福祉パスは、これまで無料で交付されていましたが、今回の見直しでは、交付対象者を一部拡大（知的障害B2）するとともに一方で有料化するというものです。有料化にあたっては、当初案では、年間3,200円、今回の条例案では金額を修正し、年間1,800円の負担を交付者に求める点が主な見直し内容です。

市は、上記の福祉パスを含め、“福祉タクシー券”や“ガイドヘルプ”、“ガイドボランティア”事業などの各種の障害者の外出移動支援施策の見直しをいま進めています。当局側の説明によれば、これは、少子高齢化が進展し、社会環境の変化のためか一部対象者の増加傾向が見られる中で、ひっ迫する市財政と均衡を図りながらも、制度の安定的な継続を図るためとの理由による見直し提案です。

障害者の移動支援施策に限らず、市が現に行っているあらゆる施策は、①行政が行うべきものかどうかの選択判断、②財政上の課題、③内容や程度の妥当性、④将来需要 などの視点から常に見直しを行い、その結果、時には、改善し充実させること、時には縮小や廃止することが必要と考えます。その意味で今回、福祉パスを中心とする障害者の移動支援施策の見直しが議論に上ったこと自体は理解できます。

見直しが昨年の半ばに俎上に載り、我々、健康福祉・病院経営委員会の委員に報告されて以来、対象者や関係者の方々を中心に市民の多くの声が寄せられてきました。そして私も担当の委員として、積極的にそうした声に耳を傾けるとともに、通常の委員会はもちろん、その他の公式・非公式な場も含め、あらゆる機会をとらえ市当局とやり取りや議論を重ねました。その上で、市側の条例案は、①見直し議論のプロセス、②福祉パスの財源論、③移動支援施策全体のあり方、以上の点から検討した時に、いうならばまだ生煮えであり、ここで結論を出すべき状況にはないと考えました。そこで私は、会派に諮り、継続審査を求めること、もし継続審査が委員会で認められないならば現時点では、有料化に反対することとしました。結果は、望月の所属する“みんなの党市議員団”だけでなく、他会派も慎重な議論を求め、全会派一致で継続審査と致しました。

望月の議会での活動の様子を是非、動画でご覧下さい。

“横浜市会” ⇒ “インターネット中継” ⇒ “議員名から選ぶ” ⇒ “望月高德”

横浜市会では、現在、本会議や予算・決算特別委員会の様子を当日の現地〔市会棟〕での傍聴だけでなく、インターネットで中継し公開しています。

“皆さんの声”は、横浜市議員 望月高德 が承ります！



045-532-9089 [TEL&FAX]

khotoku@info.email.ne.jp

または 直接事務所までお寄せ下さい。

ご協力に感謝！！

政務調査事務所／都筑区中川中央1-24-17-2F

〔市営地下鉄センター北駅グリーンライン側目の前〕

切り取り線

5のつく日には行政相談実施中！

5日、15日、25日の毎月5のつく日には、事務所にて行政相談をお受けしています。詳細は、お問い合わせ下さい。

5のつく日の行政相談以外にも、皆様からの行政相談やお声を常にお受けしています。各種団体、NPO 法人、自治会・町内会あるいは個人 etc ご相談&意見交換などなど。ご連絡頂ければ、当方から出向きます。

“皆さんの声”をお気軽にお寄せ下さい。

ご記入日／平成25年 月 日

1. 横浜市政で特に力を入れるべき分野をお選び下さい〔複数チェック可能〕。

- 介護支援、福祉、医療 □子育て支援、教育、文化事業 □防犯、防災、消防
□財政健全化 □経済・産業・観光振興、企業誘致 □都市計画、交通・道路整備
□環境保全、公害対策 □公報、市民相談、情報公開 □市職員機構・議会改革
□その他（ ）

2. 横浜市政や区政、あるいは政治全般について、ご要望やご意見があれば教えて下さい。

.....

ご記入者のご氏名〔 〕 年齢〔 歳〕 性別〔男・女〕
ご記入者のご住所〔 〒 〕
連絡先電話番号〔 〕
メールアドレス〔 〕

※ 以上の項目は、すべて任意。可能な項目のみご記入をお願い致します。
※ お寄せ頂いた個人情報、適正に管理します。
※ ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をすることがあります。